

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

新企画「福祉のかじ取り 市町村社協」
地域福祉活動計画へ注力の「上越」（2～3面）

- 新連載—福祉作業所で手作り「ふくしの逸品」
- 世界アルツハイマー月間、新潟ユニゾンプラザがオレンジ色に

11月号
2020
第819号



絵 しゅんすけ 「ヒカリ」（えかき・新潟市西区）



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<http://www.fukushiniigata.or.jp/>

福祉にいがた 福祉に
い
が
た
の
背
景
画
を
こ
こ
ら
か
ら

意見を交わした名立区地域懇談会



心して暮らせる地域実現への行動計画も示される。平成17(2005)年に周辺13町村を編入合併した上越市。人口は約19万7千人(平成27年)と県内3番目、面積は佐渡一島を超える。「同じ市でも海岸部や中山間地もあれば、都市部も過疎地もあるため、福祉活動計画

る福祉活動を実践する基礎組織・住民福祉会が設置されている所を中心にモデル自治区に選定。昨年度、地域ぐるみでの地域福祉活動計画策定を呼び掛けた。市社協のかじ取りに反応したのが名立区だった。かつて糸魚川西頸城に区分けされ、合併では上越市への編入を選んだが、人口減少に歯止めはかからない。しかし名立では福祉施設の整備充実を願う住民が結束し声を上げ、特別養護老人ホームの設置につなげた

【上越市社会福祉協議会】
〒943-0806 上越市木田新田1-1-3
☎025(526)1515
▽組織 本所と上越支所のほか、旧町村の13支所

上 越

地域福祉活動計画



地域の福祉の充実・向上へ、県内市町村の社会福祉協議会はどのような「かじり」をしているのか。各地の社協に、かじりを入れていく施策を尋ねるとともに、熱心な旗振り役の職員にインタビュー、住民の声も紹介します。

上越市社会福祉協議会が力を入れるのは、市内に28ある地域自治区ごとの「地域福祉活動計画」策定だ。計画の福祉目標は、市全体の地域福祉活動画に沿った地域ごとに定められ、安

は地域自治区ごとの策定が必要だ」と市社協の宮本慶之地域福祉課長。28ある地域自治区のうち、13は旧町村に1つずつで、残り15は旧市。市社協は、住民主体によ

策定へ「住民議論」仕掛ける



出来上がった「名立区地域福祉活動計画」

こともあり、福祉に対する住民意識は高いという。年齢を重ねても暮らしやすい名立にするにはどうすべきか。住民が意見を出し合うため設けた地域懇談会には中学生から高齢者まで30-40人が集まった。「名立のいいところ、足りないところを指摘し合い、どんな町になってほしい」としている。

いか、実現のために何が出るかを話し合いました」と宮本課長。懇談会での意見を計画検討委員会で議論。懇談会と検討会での何度かの議論を踏まえ今年3月、「区地域福祉活動計画」が策定された。定めた「キャッチフレーズ」は「一人ひとりが支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉のまち・名立」。計画には「意識をはぐくむ行動目標」「人をつくる行動目標」などが示された。名立区に続き、中郷区も今年度、地域福祉活動計画を策定した。宮本課長は「生活課題が複雑化・多様化している時代、住民の支え合いが大切になる。市社協としては具体的な活動に対し、必要な支援を積極的に行っていきたい」としている。

熱人登場

一つの施策実現への熱心な旗振り役を、ここでは「熱人」と呼びたい。上越市社会福祉協議会で「地域福祉活動計画」策定を担当する佐藤貴規・地域福祉課参事に、掛ける思いを聞きました。

使命感持って

寄り添いたい

を終えたそうです。上越は市域が広く、まだまだこれからです」

「名立区は住民がとても熱心だったそうですね。」

「(市社協として)特別なことはしていません。地域福祉活動計画づくりに、住民から参画してもらいたい」

住民の皆さんも私たちも共有できたと思います」

「共有した内容は？」

「つまり、地域の将来はバラ色でない、と。行政に依存するだけでなく、地域で頑張らなければならぬ、と。だから皆さん、真剣だったのでは」

「計画を「絵に描いた餅」にしないために」

「計画の実行」

実践の継続が大切です。住みやすい地域づくりを住民主体で体现するために、大事なものがこの計画なのです」

「佐藤さんは地域福祉活動計画を担当して何年ですか？」

「平成21年からですから、10年余りですね」

「以前から『住民に寄り添う仕事』をしたいと思います。使命感があります。まだまだ頑張りますよ」

住民が一言

名立の人口は約2500人、世帯は約800と、小さな区です。推計によれば人口は今後、さらに減ります。将来を考えたなら安穩としてはいられません。危機感があつたから、今



住民側の事務局を務めた

三浦元二さん

回の計画策定に際し私たちは「自分たちが動かなければならない」と共通認識を持ちました。行政や市社協の計画を作るのではない、地域の将来を論じて計画を作るのだ、と。

だから、多くの住民が自主的に取り組むようになり、地域懇談会への参加者も増え、活発な議論・意見交換につながりました。

計画策定に当たっては、町内会や老人クラブなど、区内の各団体に声をかけ、上越市社会福祉協議会と連携しながら参加を呼び掛けました。

熱に議論から危機感

地域懇談会で意見交換し、そこで出た声を計画検討委員会が議論。その結果を再び懇談会で話し合うことを繰り返して、今年3月の策定に至りました。

今年度はアクションプラン策定を進めます。暮らしやすい名立区を目指して、計画を「絵に描いた餅」としな

いたため、具体的な取り組みを定めます。

市社協は、住民の立場に立って考え、動いてくれたと感謝しています。



取材に応じる佐藤貴規・上越市社協地域福祉課参事

「計画策定では県内市町村社協のうち上越市社協がトップランナーですか？」

「いえ。新発田市社協はすべての地域自治区で策定

「懇談会には幅広い世代が集まったそうですね。」

「懇談会には中学生から高齢者まで参加しました。特に中学生の参加は新鮮でした。多世代で話し合った結果、地域の課題について、



赤い羽根 情報

厚労相メッセージ伝達

赤い羽根募金 新潟で開始式

74回目となる「赤い羽根共同募金運動」の開始セレモニーが10月1日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップで開催されました。

セレモニーでは「赤い羽根空の第一便」伝達式が行われました。全日空（ANA）の職員が厚生労働大臣メッセージを県知事と新潟市長へ、中央共同募金会長メッセージを県共同募金会長と新潟市共同募金委員長へ、それぞれ手渡しました。



ANA 職員（左側）から新潟県と新潟市へ手渡された厚生労働大臣メッセージ

県共同募金会の小田敏三会長は「このような時だからこそ、地域の実情に応じた支援をすることが共同募金会の使命だ」とあいさつしました。今年は新型



九州豪雨災害義援金

2400万円 中央募金会へ

新潟日報・BSN

新潟日報社と新潟放送（BSN）は、今年7月の九州豪雨災害の後、県民に呼びかけて集まった義援金を9月8日、中央共同募金会へ贈呈しました。贈られたのは、両社からの拠出金100万円ずつを含め計24,672,194円です。

コロナウイルス感染拡大防止の観点からセレモニー後の街頭募金は実施されませんでした。出席者はそれぞれに募金協力していました。

写真Ⅱ中央共同募金会の渋谷常務理事（右）へ目録を贈呈

この日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで贈呈式が行われました。新潟日報社の小田敏

新津CCで慈善ゴルフ

参加者全員 今年も寄付

第8回「赤い羽根共同募金チャリティーゴルフコンペ」が10月10日、新潟市秋葉区の新津カントリークラブ（新津CC）で開催されました。台風の影響で強め



県共同募金会会長（左）へ寄付金を贈る高橋道映・新津カントリークラブ社長

三社長は「貴重な浄財をいただいた。被災地の皆さまに少しでも役立ててほしい」と述べ、新潟放送の佐藤隆夫社長は「ウイルス禍の中でも多くの寄付が集まった。善意を有効活用してほしい」とあいさつしました。

中央共同募金会の渋谷常務理事は「新潟の皆さまから気持ちを寄せていただき、感謝している」とお礼を述べました。

の風が吹く中、139人が参加して熱戦を繰り広げました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、ゴルフコンペの表彰式はありませんでしたが、コンペ参加者などからの募金贈呈式は例年通り、行われました。

式では、参加者全員からの寄付金13万9千円と、新津カントリークラブ新潟観光開発株式会社からの寄付金5万円がそれぞれ県共同募金会の小田敏三会長へ手渡されました。

新津CCの高橋道映代表取締役社長は「少しでもお役に立てれば。引き続き協力したい」と述べました。

会員数
約**27**万人
(2020年3月現在)

福祉・介護職員の
福利厚生は
ソウェルクラブに
おまかせください

ソウェルクラブ(福利厚生センター)は…

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国で展開し、スケールメリットを活かすことにより、個々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

01
加入
メリット

- 職員のリフレッシュやストレス解消
- 職員の就労意欲の向上
- 職員のチームワークの構築
など

02
掛金

職員1人当たり毎年度1万円
※非常勤職員向けに5千円コースも
ご用意しています。

03
ソウェルクラブの
10大
サービス

生活習慣病予防
健診費用助成金

4,000円助成

慶事のお祝い品
(結婚、出産、入学)

1万円または5千円の
商品券を贈呈

弔慰金

- ・ 会員死亡 **60万円**
(就業中の死亡は180万円)
- ・ 配偶者死亡 **10万円**

健康生活用品給付

毎年全会員に給付

永年勤続記念品

勤続5～30年(5年刻み)及び
35年以上の退職時に贈呈

資格取得

5千円相当の記念品

各種講習会

受講料・教材費無料

ソウェルクラブ“クラブオフ”

ホテル、レジャー施設、飲食店など
20万件以上の優待サービスが利用可能

クラブ・サークル活動

1人あたり
1,000円助成

会員交流事業
(都道府県ごとの各種イベント)

割安な参加費

資料請求は
こちら

<法人・事業所のご担当者の皆さまへ>

ご希望の方には、ソウェルクラブのサービス内容をコンパクトに
まとめたパンフレットを送付いたしますので、お気軽に下記宛てにご連絡ください。



全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円	
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額			6,500円	
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額			4,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		×	○	
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
こちら



(ふくしの保険
ホームページ)

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●この案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

加入の施設・人数とも増加

現況報告

本制度は、県社協の会員である施設・団体に勤務する職員が退職する際に年金または一時金を支給し、生活の安定に寄与することを目的に運営しています。

令和元年度末時点での加入者数は22,706人で、前年度に続き、増加傾向にあります。また、男女別でみると男性が28%、女性が72%。年齢別では40代が最も多

く28.3%となっています。加入期間別では、1年以上5年未満が最も多く29.2%。10年未満の加入者は全体の56.3%を占めています。

令和元年度における給付状況は退職一時金が1,712人に計541,117,654円支給されました。退職年金の給付は計34,946,664円でした。

1 加入施設・加入者の状況

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
加入施設・団体数	631	635	634
加入者数	22,539	22,689	22,706

※届け出の遅れ等により、数値が変動することがあります。

2 年齢・男女別加入者状況

年齢	男性	女性	合計	構成比
20歳未満	12	24	36	0.2%
20歳以上30歳未満	1,115	2,645	3,760	16.6%
30歳以上40歳未満	1,914	3,825	5,739	25.3%
40歳以上50歳未満	1,858	4,567	6,425	28.3%
50歳以上60歳未満	996	4,012	5,008	22.0%
60歳以上	478	1,260	1,738	7.6%
合計	6,373	16,333	22,706	100.0%

3 加入期間・男女別加入者状況

期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	146	373	519	2.3%
1年以上5年未満	1,699	4,920	6,619	29.1%
5年以上10年未満	1,574	4,075	5,649	24.9%
10年以上15年未満	1,200	2,918	4,118	18.1%
15年以上20年未満	711	1,753	2,464	10.9%
20年以上25年未満	585	1,227	1,812	8.0%
25年以上	458	1,067	1,525	6.7%
合計	6,373	16,333	22,706	100.0%

4 給付の状況

(単位：円/人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
退職者給付総額	500,628,298	614,703,850	578,064,318
一時金給付総額	475,902,472	586,317,657	541,117,654
一時金給付者数	1,550	1,817	1,712
一時金平均額	307,034	322,684	316,073
年金給付総額	24,725,826	28,386,193	36,946,664
年金延給付者数	623	691	863
年金給付平均月額	13,229	15,188	14,271



熊本県では特別養護老人ホーム入所者など多くの犠牲者が出た、7月の九州豪雨被害はまだ記憶に新しい。水害発生の恐れがある地域の高齢者・障害者施設などには「避難確保計画」作成が義務付けられている。ところが

「福祉施設の 水害避難計画」

全国で作成済みの施設は、対象施設全体の54%にとどまるという(令和2年6月30日の国土交通省データ)。県内で浸水想定地域にある対象施設は2,545施設。うち計画の作成済みは7割余りの1,844施設。熊本の場合、7月の惨状の直接原因でないかもしれない

実効性高める努力必要

が、作成率は19%と全国最下位だ。ちなみに本県は10位で、最も高いのは岩手県の82%だった。

計画作成者は、市町村地域防災計画に定められた要配慮者の利用施設である。利用者の円滑、かつ迅速な避難のための避難誘導や防災態勢などを定める。

避難誘導は災害時に極めて重要だ。犠牲者が出たケースを検証すると「適切な避難誘導をしたか否か」が犠牲者の有無に結び付くという。

防災の最大目標は被害の未然防止であることは言うまでもない。そのためにも普段からの備えが大切だ。一方で、せっかくの防災計画を策定だけに留めてはならない。絵に

描いた餅で終わらないよう、実効性を高める知恵と努力が求められる。

(貴浩)



認知症 支援と理解へオレンジ色

「世界月間」の9月

ユニゾンライトアップ

9月の「世界アルツハイマー月間」に伴い、認知症啓発シンボルカラーのオレンジ色に、夜の新潟ユニゾンプラザを染め上げるライトアップが9月25日までの5日間、実施されました。

また認知症をテーマにしたパネルも館内で同時期に展示されました。

ライトアップは、認知症への理解促進や当事者支援、館内にある「認知症コールセンター」のアピールを狙いに、県社会福祉協議会が初めて実施。新潟照明技研（新潟市）が機材提供や設営に協力しました。



9月下旬の夕暮れ時、ユニゾン館内に照明が点灯されると、光は白い壁面に反射。ガラス張りの壁面を通して、信濃川沿いに優しいオレンジ色の光を浮か

び上がらせていました。

認知症は誰もがなりうる病気です。オレンジの光が認知症の当事者や家族の心を照らす灯火に、そしてこれから認知症を考える人達への道標となるよう、ライトアップには世界中の願いが込められていました。写真Ⅱ秋の夜の信濃川付近に、オレンジ色の優しい光を放つユニゾンプラザ

認知症に関する悩みをお聞かせください

◆新潟県認知症コールセンター◆

【相談電話】 **025-281-2783**

【相談時間】 月～金曜日 9:00～17:00
(年末年始・祝日を除く)

新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【介護実習室】



【広さ】 101㎡
(実習用ベッド
4台配置)

介護用ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、リフト等、介護実習に必要な備品を各種備えています。

介護の実習や研修会にぜひご利用ください。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL : <http://www.unisonplaza.jp/>

【大研修室】

【広さ】 367㎡

200インチの大型電動スクリーンを設置しております。

研修会や上映会など多岐にわたり大画面ならではの迫力ある映像が映写できます。

なお、プロジェクターが新しくなり、より高画質な映像投影が可能になりました。



NEW

—多目的ホール、各種会議室、福祉の店パレット、図書館は新型コロナウイルス対策を励行しています—



新潟市秋葉区の旧新津市中心部から南東へ、五泉市に程近い草水町。地域には、盛んに湧き上がる石油で煮物を料理するような音がしたという油井戸の史跡「煮坪(にえつぽ)」が残る。会の名は、昔の土地の呼び名・高坪にちなんだ。



子どもたちもお手伝いした、2年ほど前の笹団子作り

のお手伝いをしよう」。町内に住む上杉国武さんは、福祉施設にも関わる妻あさ子さんと平成23(2011)年、任意団体「たか坪の会」を発足させた。8人ほどの住民も手伝ってくれた。

まず始めたのは「お茶の間」活動。道路沿いの元店舗を借りて「たか坪の家」に改造。独り暮らしのお年

食事会や朝市…つながり多彩に

寄りを中心に声を掛けた。「外出に支援が必要な方もいる。『送迎するから来ないか』と参加を呼び掛けた」と国武さん。

平日の「お茶の間」に加え、木曜は「お昼のお食事



上杉国武さんと、あさ子さん

会」を設けた。ボランティアが昼食を作り、当時、10人あまりのお年寄りが食卓に向かい、談笑した。

会は、活動の幅をさらに広げて行く。菓の受け取りや通院の支援、ボランティアの力も借りながら、ごみ出し、草取り、玄関前の除雪も請け負う。

平成28年に特定非営利活



秋野菜を並べた、昨年の朝市

弁当配布になったが、秋の「朝市」は例年通り。

10月に入り、夫婦が育てた大根やネギ、白菜などを収穫すると、木曜朝、「たか坪の家」前で販売する。

動法人(NPO法人)に認証。翌年には高齢者の共同住宅も構えた。

一番にぎやかなメインの朝市が今年は11月12日(木)。この日はおいしいと評判の手作り笹団子(1個120円)も並べる。

地域の社会資源を耕し、共生社会に向かつて、地域を支えるNPO法人や福祉関連団体などの活動を紹介いたします。

|| 随時掲載 ||

◆メモ◆

NPO法人「たか坪の会」理事長で、草水町の自治会長も務める上杉国武さん。町内でも高齢化と耕作放棄に伴い、荒れていく畑が後を絶たない。「これをどうしたらなくせるか」。答

え探しを続けているという。
▼お食事会 毎週木曜日午前10時〜午後3時 参加費1人400円
※支援活動は「菓の受け取り」「通院」「草取り」「簡単な剪定」「玄関前の除雪」などがある。

支援活動は「菓の受け取り1回200円」のように、いずれも有料。
「たか坪の家」〒956-10833 新潟市秋葉区草水町2ノ9ノ2
【電話】0250(23)5310

粹に かわいく おしゃれ



↑ 藤の籠 (ネズミ)
つくし工房 (新潟市中央区)

→ 布製の手提げ
どんぐり工房 (妙高市)



↓ テープクラフトの籠
ワークセンターミナと
(新潟市中央区)



↑ キャンドル
燕市社会福祉協議会就労支援
センター・つばめキャンドル
(燕市)

「福祉の店・パレット」

新潟ユニゾンプラザ1F

布バッグや籠、雑貨…
障害者らが手作り

新潟ユニゾンプラザの1階にある「福祉の店・パレット」。ここでは、障害のある人たちが手作りした製品を販売しています。店頭の商品は、布製ショルダーバッグや籐を編んだ籠、亀田縞のバッグなど、実用的な品々、かわいい品々がたくさん。手作りだけに、ぬくもりを感じさせ

ます。クッキーやせんべい、スイーツも豊富です。土日や祝祭日になると、ユニゾンプラザでイベントが開かれると、「パレット」の品々も来館者の目を引きつけます。新連載「ふくしの逸品」のスタートに合わせ、「パレット」の商品のごくごく一部を紹介します。



↑ 亀田縞の
バッグ in バッグ
福祉事業所つばさ (新潟市中央区)

柔らかな色合いの糸がふんわりー。

優しい手触りにうっとりしそうになる手織りストールは、燕市桜町にあるNPO

法人アビリティィ燕が運営する福祉作業所(就労継続支援B型)「トム・ソーヤ」

手織りストール

柔らか、温かみ人気

の製品だ。材料の糸は、ウールだと東京の専門店を通じてスコットランド産を取り寄せている。糸の色の種類は赤や黄、青、オレンジ、ピンクなど実にさまざま。アルパカなどは、県内のニット産地に協力してもらい、取り寄せている。手織りストールは、ウールやアルパカ、カシミアの

冬用と、綿や麻の夏用を作っている。それぞれに、糸の風合いを生かした無地のほか、グラデーショナルやチェック柄もある。「冬用も夏用も、手織りならではの温かみのある風合い、優しい手触りがいいと言われます」と、運営法人の近藤麻理子理事長。法人が営む「喫茶つばめ」の店内のほか、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザ1階の「福祉の

店・パレット」などで取り扱う。法人「アビリティィ燕」のホームページでも販売しており、北海道や仙台、名古屋からも注文が入り、サイズや素材を指定するリピーターもいるという。さらに地元・燕市が「ふるさと納税」の返礼品に加えた。今や「物づくりの町・燕」の逸品だ。



【冬用の素材と値段(税込み) アビリティィ燕の販売例】

▷ウールのチェック柄 幅35cm×長さ180cm 8,500円	幅55cm×長さ180cm 13,000円
▷アルパカの無地 幅35cm×長さ180cm 7,000円	幅55cm×長さ180cm 10,500円
▷アルパカのチェック柄 幅35cm×長さ180cm 7,500円	幅55cm×長さ180cm 12,000円

階の「福祉の店・パレット」などで取り扱う。法人「アビリティィ燕」のホームページでも販売しており、北海道や仙台、名古屋からも注文が入り、サイズや素材を指定するリピーターもいるという。さらに地元・燕市が「ふるさと納税」の返礼品に加えた。今や「物づくりの町・燕」の逸品だ。

手織りストールに取り組んだのは10年以上前。「利用者にもっと報酬を支払いたくて、新しい作業を手掛けたかった」と、近藤麻理子理事長。機織りに興味があったこともあり、神奈川県の工房から指導者を呼び、織り方を習った。しかし織ってみると両端が真っ直ぐに仕上がらな



糸1本1本 ふんわり織る

い。職員も加わって試行錯誤を数年続けた後、7-8年前からようやく製品化できるようになったという。現在、卓上の織機に向かう利用者は田中佳菜さん、真田一人、機織りが得意なのです」と近藤理事長。

職員が見守られ、田中さんは横糸を通した後、ふんわりと織り込んだ。「ガシャン、ガシャン」と織ると、柔らかい手触りに仕上がらないという。

職員が手伝っても月産10枚ほど。手間がかかる。それでも織機に向かう田中さんは楽しそうだった。

「福祉の現場で働く人たちに、
仕事の魅力と懸ける思いを聞きました」



特定非営利活動法人

「eばしょ結屋」理事長

伊藤 美代子 さん

資格 看護師

「結屋」名前の由来
人と人を「結び付ける場所に」との願いを込めた

〒950-2101
新潟市西区五十嵐1の町 6861-23
就労継続支援B型事業所「結屋」
☎025 (239) 5810

連絡先

利用者にも芸術活動など体験

「障害者が作業するだけの場所にしたくない」。平成18（2006）年、新潟大学五十嵐キャンパスに程近い所の2階建て民家を借り、通所作業所である地域活動支援センター「結屋」をスタートさせました。

通い始めたのは知的や肢体、精神など、さまざまな障害のある利用者10人ほどでした。3年後にはNPO法人に認証され、現在は作業所のほか、障害のある女性向けグループホームを運営しています。



「結屋」で利用者たちの作業風景

作業所には20代から70代の利用者約20人が通って来

ます。事業所などから委託された封入作業などに取り組んでいます。

同じ作業所の利用者だとしても、障害の種類も、興味もそれぞれに違う。みんなに、作業ばかりを「頑張つて」とは言えない。

そんな思いで、当初から「楽しめること」を取り入れてきました。例えば作業のほかに「芸術活動」をプラスしました。地元の先生に来ていただき、利用者は

絵や習字、絵手紙、さらに料理にも挑戦しました。好きなこと、楽しいことだと意欲が出てくる。職員が気付いて、得意分野を伸ばすことにつながる。

大切なのは利用者にも楽しんでもらうこと、そのためにも毎日、来てほしい。ほかには、地域とのつながりを大事にしました。

アルミ缶を集めようと、10年程前から毎週、近くの

新大へ利用者がリヤカーを引いて通いました。広い

キャンパスを1時間半掛けて歩きます。新型ウィルス禍で今は中止しています。が、こうした活動を地域の人が見えてくれていたの

でしよう。ごみステーションや地域の公園清掃も依頼されるようになりました。現在の作業所はとても手狭なため、近くに作業所を新築する予定です。新作業所を軌道に乗せ、若い人たちに引き継ぎたい。

体験

「福祉」に

興味を持ったのは、高校時代のボランティア活動がきっかけ。県の看護師となり、介護保険準備室で本庁勤めをした後、退職して福祉に向き合うようになりました。先進国の北欧も訪ねました。そして思うのは「日本の現場をもう少し改革できたら」。

編集後記

「福祉にいがた」取材編集を担当して2度目となる11月号をお届けします。

今号から各ページ下のページ数表示の隣に「2020年11月号」と表示しました。というのも、本誌の過去記事を参照して「何月号か？」を知りたいとき、1ページ目に戻る必要がありました。2、3年分のとじ込みだと、結構な手間だと感じました。

発行年月が各ページに表示されていれば便利だと思っただけです。誌面改善のつもりですが、言葉を換えれば1ページ目に戻らずに済ませたいという横着な性格の表れでもありません。

読みやすく親しまれる誌面を目指したいと念じています。皆さまもお気付きの点について教えていただけたら幸いです。

(佐)

ご意見ご感想
お寄せください

◆ 〒950-08575 新潟市中央区上所2-2-2
◆ 新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ ファクス 025-281-5528
◆ Eメール oasisu@fukushihiniigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関原 貢
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和2年11月1日発行（毎月1日発行）
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱